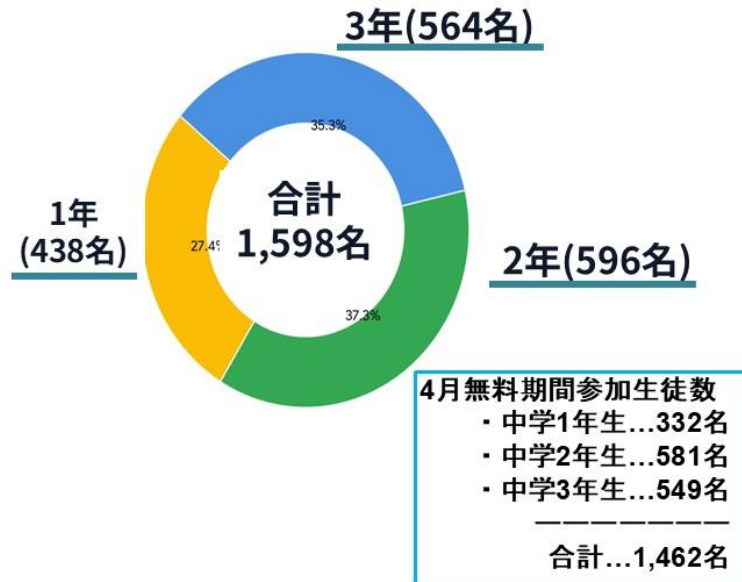


所管事務調査(3)

部活動地域展開の進捗について(令和8年5月末現在)

1.地域クラブ 登録等状況

生徒登録状況



指導者登録状況

指導従事者数

214名

待機指導者

54名

指導従事者内訳

バスケットボール	30名
吹奏楽	27名
バレーボール	26名
ソフトテニス	23名
陸上	22名
サッカー	21名
野球	21名
剣道	15名
卓球	14名
柔道	6名
水泳	3名
ダンス	3名
バドミントン	3名

合計=214名

指導者資格所持者

51名

兼職兼業教員

90名

指導者ボランティア (部活動顧問)

6名

見守りスタッフ

72名

2. 指導体制

(1)指導者等の状況

○指導資格所持者 51 名を含む種目経験者が指導にあたり、教職員(兼職兼業)、学生指導員、成田市課外体育活動支援指導者、成田市課外文化活動支援指導者、保護者による見守りスタッフなど多様な人材が参加し、地域で地域クラブ活動を支援している。

(2)学校との連携(指導者ボランティア)

○総合体育大会に向けて部活動顧問が指導協力し、子どもたちの環境変化に対応している。

(3)安全面

○軽微なケガ4件。

3. 初期運用における課題と対応策

(1)管理システム「みんクラ」及び、各種担当者を活用した連携体制

○操作方法が不安な指導者に対し、事業者が巡回説明を実施。また、学校と地域クラブ間の連絡体制構築のため、顧問教員へのシステム登録を進めている。施設利用に係る調整についても、みんクラシステムを活用し、指導者間で情報共有を行っている。

○各種目に1名の種目コーディネーターを配置し、大会参加等に係る調整について学校と連絡・協議を行うなど、円滑な連携を図っている。

(2)成田市地域クラブ参加費補助金

○保護者からの申請を受け、対象世帯の確認を進めている。個別説明や学校連絡システムによる再周知、教育委員会からの直接連絡などでフォローを行う。

(3)その他

○屋外競技における熱中症対策(休憩場所の確保)などを随時実施している。

4. 今後の見通しと運用の強化

(1)総合体育大会への参加

○市内1種目展開の3クラブ(柔道・男子バレー・水泳)を除き、原則として「部活動」として参加する。

○バドミントンは「拠点型部活動」として参加予定。

(2)運用ルールの再徹底

○連絡体制の確認、指導者の名札着用、施設利用ルール(鍵の管理等)の指導を改めて行う。

(3)小規模クラブの統合

○生徒登録者が極端に少ないクラブは、生徒・保護者・指導者の了承を得た上で、近隣クラブとの統合を柔軟に進める。

地域クラブ活動の様子

陸上



サッカー



バスケットボール



バレーボール



ソフトテニス



野球



柔道



剣道



卓球

